

(2) 平成29年度地方創生推進交付金事業実施状況について

一億総活躍社会の実現に向けて、ローカルアベノミクスの推進を通じた地域の付加価値創造力強化のため、緊急に実施すべき対策として、まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けられた先駆性のある取り組みの円滑な実施のため「地方創生推進交付金」が平成28年度に創設されたことから、恵庭市においても恵庭市総合戦略に基づき、人口減少や少子高齢化が進む社会情勢においても高い持続性を確保できるよう下記のとおり事業を実施します。

◆田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト～恵まれた庭のコンパクトなまちづくりへの挑戦

	事業名	事業費	説明(主な内容)
1	子どもの生活・学習支援事業	3,000	恵庭地区、柏地区
2	花の拠点整備事業	10,000	センターハウス改修設計
	花観光推進事業	14,000	コミュニティガーデン作成、シンポジウム、花のまちづくりプラン改定、オープンガーデン等バスツアー
3	移住促進事業	5,000	ウェブサイト、就職・不動産情報、移住フェア・相談会、PR、移住後のフォローアップ、オーダーメイドツアー
	小計	32,000	

◆広域ネットワークによる農商工連携推進プロジェクト(藤枝市との連携)

	事業名	事業費	説明(主な内容)
4	広域ネットワークによる商品ブランド化プロジェクト事業	15,800	連携商品ロゴ製作、産業PRイベント、6次産業化推進協議会負担金、新商品開発補助金等
	小計	15,800	

◆「さっぽろ圏」若者定着広域連携推進事業(北海道、近隣市町との連携事業)

	事業名	事業費	説明(主な内容)
5	就職促進事業	4,000	合同企業説明会、高校生向け就職支援セミナー、女性向け就職応援セミナー、相談業務
6	起業家支援事業	834	起業支援・事業承継支援相談、起業塾
	小計	4,834	

◆修学教育旅行・修学旅行等の学生の受け入れを核とした将来の対恵庭観光・投資拡大推進事業

	事業名	事業費	説明(主な内容)
7	修学教育旅行・修学旅行等の学生の受け入れを核とした将来の対恵庭観光・投資拡大推進事業	28,632	教育・修学旅行ツアー作成、広告・宣伝、マッチング、多言語職員配置等
	小計	28,632	

地方創生推進交付金事業費合計	81,266
-----------------------	---------------

1. 田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト

子どもの生活・学習支援事業

【概要】生活上の様々な困難や課題を抱える子どもたちが、地域とつながりを持ち、安心して暮らすことができるよう、基本的な生活習慣の習得や学習支援、食事の提供などを行う地域の居場所づくりを進め、子どもの生活の向上を図ることを目的としています。

進捗状況(4月～9月末)

週に1回 放課後に実施しています。
宿題や、自分の勉強したいことを勉強しています。
わからないところがあれば、教員OBの支援員と一緒に学びます。勉強後は、出来立ての食事をみんなで食べます。



今後の予定(10月～3月末)

- 一年間を通して、週に1回実施していきます。
- 地域の中で子どもが過ごす居場所を提供します。



【事業担当者の意見】

生活するうえで様々な困難な課題を抱える小中学生が、自主的に勉強や課題に向きあっています。また、作りたての温かい食事で、偏食気味の子どもたちの好き嫌いも減り、食事を楽しめています。

1. 田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト

花観光推進事業 [コミュニティガーデン造成・オープンガーデンバスツアー・花のまちづくりプラン改定]

【概要】観光資源として花を最大限活用し、行政・企業・市民が協働し、花のまちえにわの知名度をさらに高めるため、市民に対し様々なイベントの実施、情報発信を実施する。

- 市民向けオープンガーデン等ツアーの実施
- 市民協働によるコミュニティガーデンの造成
- 市民による花のまちづくりプラン改定
- 花観光のおもてなし向上シンポジウム開催

進捗状況(4月～9月末)

○親子で楽しむオープンガーデンツアー【8月6日(日)】

13組26名の親子がオープンガーデンや花苗生産企業を訪問、花のまちづくりや歴史を知ってもらい、「花のまちえにわ」により関心を深めていただいた。

○教職員向け花のまちえにわ研修【8月10日(木)】

恵庭市内に勤務する15名の教職員及び教育関係者に、花の歴史に関する講習と、オープンガーデン等を見学し、「花のまちえにわ」をより深く知っていただいた。

○市職員向け花のまちえにわ研修【8月29日(火)】

採用年数の浅い市職員24名を対象に、花の歴史に関する講習と、オープンガーデン等を見学し、「花のまちえにわ」についての知識を高めた。

○めぐみの庭めぐり

【9月8日(金)～9月9日(土)】

JR恵み野駅から20分毎に無料循環バスを運行。11箇所のバス停と4箇所のインフォメーションを設置。自由にバスを乗り降りしながらオープンガーデンや街並みを散策し、「花のまちえにわ」に触れていただいた。2日間で1,000名が参加。



今後の予定(10月～3月末)

○紅葉めぐりバスツアーの実施

10月6日から9日まで4日間実施。花の終わる10月も、観光資源である紅葉を花に見立て、市民に景勝地である恵庭溪谷を堪能していただく。

○コミュニティガーデンの造成

黄金ふれあいセンターに造成するコミュニティガーデンについて、9月22日に施工業者が決定。10月上旬よりワークショップを開催し、造成を行う。

○プラン改定

市民から意見をいただき、内容を整理した上で骨子案を作成、パブリックコメントを踏まえ、本編及び概要版を印刷製本し、配布。

○花観光のおもてなし向上シンポジウム開催
2月頃開催予定。

【事業担当者の意見】めぐみの庭めぐりは今までのオープンガーデンツアーとは違った手法を取り、参加者からは好評を得た。改善点、反省点は多々あるが、次年度は参加対象を拡大し、たくさんの方に花のまちえにわに触れていただきたい。

1. 田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト

移住促進事業[移住相談会・移住フェアへの参加、移住者交流会の開催等]

【概要】恵庭市の知名度向上、魅力をPRし、恵庭に行ってみたい・住んでみたいと思う人の増加を目的に、ウェブサイトでの情報提供、移住イベントへの参加、移住者へのフォローアップイベントを実施

- 就業斡旋業者への委託により若年層移住検討者への具体的な仕事情報提供や転職支援を実施
- 道外居住者向け移住相談会(東京・名古屋・大阪)を通じ、恵庭の魅力をPR、個別相談を実施

進捗状況(4月～9月末)

- 本気の移住相談会(東京)への参加【6月24日(土)】
→恵庭ブースを出展し、関東圏移住検討者にPRを行った。ブースには30組に来ていただいた。その後、実際に来恵し具体的に検討している方もいた。
- 千歳市×恵庭市 合同移住相談会の実施(東京)【9月8日(金)～9月9日(土)】
→隣接地の千歳市と合同で移住相談会を行った。14組の来場があり、本気の移住相談会よりも更に本気度の高い方が多い印象だった。相談会の際に恵庭市内をご案内するツアーの予約も受け付けた。
- 移住者交流会の開催
恵庭に移住して、環境に慣れていない方、知り合いが少ない方の新たなコミュニティ形成の手助けとして、近年移住した方向けのイベントを開催。

今後の予定(10月～3月末)

- 北海道暮らしフェアへの参加(名古屋・大阪)【10月14日(土)・15日(日)】
- さっぽろ圏移住フェアへの参加(東京)【1月末】
- ウェブサイトにて情報発信【随時】
- 移住希望者を対象とした個別相談の実施【随時】
- 市内案内オーダーメイドツアーの実施【随時】
- 移住パンフレット改訂



【事業担当者の意見】ブース訪問者のうち恵庭を既に知っているという方が増えている印象。近年では若年層の相談者が増えており、就業や住まい等の幅広い情報提供が求められる中、職業紹介事業者や地元工務店と連携することで移住・定住事業として推進することができた。

2. 広域ネットワークによる商品ブランド化プロジェクト事業

商品ブランドプロジェクト事業〔藤枝市・恵庭市農商工連携広域ネットワーク事業、マッチング商談会、産業祭〕

【概要】藤枝市・恵庭市両市の気候・風土が全く異なる北海道と静岡の豊富な食・特産品のブランド力に、民間企業技術の活用・広域農商工連携により新商品開発・ブランド化を進め、販路拡大を図る。

進捗状況(4月～9月末)

○藤枝市・恵庭市 農商工連携広域ネットワーク
設立セレモニー【8月9日(水)】
⇒両市農商工連携ネットワーク代表幹事による発
足宣言。役員を選任及び規約の策定。

○藤枝市・恵庭市マッチング商談会(藤枝市開催)
【8月9日(水)】
⇒恵庭市事業者10社、藤枝市事業者11社参加

○藤枝市・恵庭市マッチング商談会(恵庭市開催)
【9月10日(日)】
⇒恵庭市事業者12社、藤枝市事業者11社参加

○平成29年度えにわん産業祭【9月10日(日)】
⇒出展者計71(企業及び団体)、内藤枝市事業者
11社。来場者数6,100名。

今後の予定(10月～3月末)

○恵庭市・藤枝市連携商品開発事業補助要綱制
定
○ネットショップ開設
○連携商品デザイン・ロゴ等作成



【事業担当者の意見】商談会の開催により多数のマッチングが成立したが、現状は試作品の開発段階であることから連携商品としての積極的な販路拡大を行える新商品開発を進めるため、今後のフォローにより成果の確認を行う。

3. 「さっぽろ圏」若者定着促進広域連携事業

就職促進事業〔高校生向けセミナー、女性向けPC研修付きセミナー、合同企業就職説明会、個別職業相談〕

【概要】市内企業の求人業務の効率化と求職者に幅広い職種選択の機会を提供するとともに、地元学生の就職促進並びに、潜在的な労働力の発掘を目的に、その実現に必要な各種事業を一体で行った。

進捗状況(4月～9月末)

○高校生向け就職支援セミナー【7月25(火)～7月26日(水)10:00～16:00】 受講者44名
⇒社会人としての基礎知識やマナーに加え、地元企業からのアドバイスをセミナーを通して習得。
○女性向けPC研修付きセミナー【8月29日(火)～9月1日(金)10:00～12:00 ※土日除く】
総申込者数20名、受講者16名
⇒復職を希望する女性求職者をメインターゲットとして、就職に対する意識啓発のセミナーとパソコンスキルの向上を図る研修を実施
○職業相談【9月20日(水)】
⇒求職者に対する職業相談事業を実施
○合同企業就職説明会【9月30日(土)10:00～14:00】
⇒市内企業の労働力確保の効率化、求職者の就職決定のため実施。39社、72名参加

今後の予定(10月～3月末)

○職業相談【H29. 10～H29. 12 月1回開催】
○12月より就職状況について調査開始



【事業担当者の意見】昨年度に比べ、セミナー等の受講者は雇用情勢の改善も影響し、減少しているものの、合同企業就職説明会の参加企業は増加傾向であり、市内企業の人材不足の様相が如実に現れている。10月以降の職業相談では女性向けセミナーや合同企業就職説明会参加者を中心にフォローアップし、ミスマッチが起きず、且つより多くの求職者が市内企業へ就職するよう、助言を行っていく。

3. 「さっぽろ圏」若者定着広域連携推進事業 起業家支援事業[起業個別相談会、起業塾の開催]

【概要】起業を目指す恵庭市民に対し、個別相談や起業に関するセミナーを通して事業イメージをより具体化させ、円滑な起業を促進する。

- 月に一回の中小企業診断士による起業個別相談会の開催
- 起業ネットワーク恵庭と共催による「恵庭起業塾」の開催

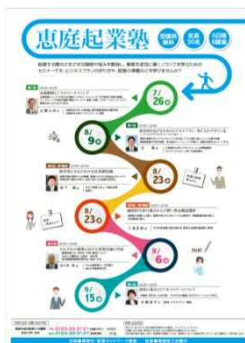
進捗状況(4月～9月末)

○実践的なセミナーを通じて事業の具体的なイメージを構築するための「恵庭起業塾」を開催する
全5回日程 申込人数31名

→第1回:27名参加。第2回:25名参加。第3回:22名参加。第4回:23名参加。第5回:20名参加
→経営・財務・人材育成・販路開拓の知識が身に付く講義の実施。

○毎月開催の起業個別相談会
6月28日、7月24日、
8月22日、9月26日開催
→中小企業診断士による、
具体的な創業相談により
創業にかかわる悩みや不安
の解消を目的として開催。

起業塾ポスター



今後の予定(10月～3月末)

○起業ネットワーク恵庭による、恵庭市内での起業を促進するためのPR動画の作成

○毎月の起業個別相談会の開催
次回は10月26日を予定

その後は、中小企業診断士と調整し、毎月1回の開催を予定。

講義風景



個別相談風景



【事業担当者の意見】起業塾の参加人数は昨年よりも増加しており起業に関心を持っている市民は増えている。起業個別相談会も毎月、一定の参加希望があることから、起業塾だけではフォローできない悩みの解消の場としてのニーズがあると考えられる。起業促進PR動画の作成といった新規取組を推進することで市内の起業を促進するとともに、きめ細やかなフォローを行うことで市内の起業を支援する。

4. 修学教育旅行・修学旅行等の学生の受け入れを核とした将来の対恵庭観光・投資拡大推進事業 対恵庭観光・投資拡大推進事業[ツアー造成、広告・宣伝、モニターツアー・商談会の開催、招聘事業等]

【概要】訪日教育旅行者数が最も多い台湾をターゲットに、青少年のうちから恵庭市の地域資源・観光資源の魅力を知ってもらい、将来の訪日リピーター獲得、対内投資の拡大を目的に事業を推進。

- 恵庭らしさを活かした訪日教育旅行・修学旅行等のツアー造成、造成したツアーの広告・宣伝
- 台湾留学生を活用したモニターツアーの開催、商談会の開催、エージェント招聘、多言語職員配置等

進捗状況(4月～9月末)

- 委託事業者の決定【6月～7月】
→公募型プロポーザル方式により、コンソーシアム2者の応募から業務委託先の事業者を選定した。
- ツアー造成に関する取組
→恵庭でしか体験できないもの・こと・人を中心に、観光資源のデータベースを作成中。現地旅行会社に情報を共有し、恵庭の観光資源の販売を依頼中。
- 広告・宣伝に関する取組
→観光専用の多言語Webサイトの立ち上げに着手。並行してFacebook, Instagramを活用した情報発信に着手。
→PR動画の作成に着手。動画素材の撮影を実施。



PR動画撮影風景

今後の予定(10月～3月末)

- モニターツアーの開催【10月中旬】
- PR動画の公開【10月下旬】
- 台北国際旅行博出展【10月27日～30日】
- Webサイトの公開【12月上旬】
- 商談会の開催【12月中旬】
- 招聘事業の実施【2月】



台北国際旅行博のイメージ図

【事業担当者の意見】台湾からの修学教育旅行等の誘致は、市内教育機関や他地域との広域連携が必須。現在、連携強化・地盤作りを積極的に展開している。また学生のみならず、一般旅行客の誘致にも発展させるべく、多言語観光Webサイトの公開や台湾人を活用したPR動画の公開等、新規取組にも着手しており、今後予定している事業と新規取組が相互に良い影響を及ぼしあうよう、効果的な事業推進を図る。